

担当
小林

月主題

かみさまありがとう



ぶどうの木通信3月号

～月の願い～



- ・ひとひひとひのらしさを出し合いながら、互いに受け止め合って遊ぶ。
- ・球根の目や花の匂い、あたたかな日差しなど、春の訪れを感じて喜ぶ。
- ・新しい生活への期待を持ちながら、好きな遊びを心ゆくまで楽しむ。

徐々に気温も上がり春の訪れを感じる季節となりました。いよいよ3月となり、期待とともに寂しさを強く感じます。子どもたちは進級することに心躍らせ、楽しみにしていると同時にきく組さんが卒園するというさみしさも理解しているようです。

この一年間で子どもたちは大きく成長し、とてもたくましくなりました。なんでも自分で挑戦し、出来ることが増えました。お友だちも増え笑顔も増えました。小さいお友だちが困っていれば自然と手を差し伸べられるようになりました。おおきく成長できたのは日々愛情をたっぷり注いで育児をされてきた保護者の皆さまのおかげです。そのおかげで我々保育士も様々なことを子どもたちに提供することができました。本当にありがとうございました。また、この一年行事や、保育での変更点等、様々な点でご理解ご協力をしていただきありがとうございました。



たんぽぽ組

いよいよ3月号になりました。毎月書いてきましたかあ、という問でした。1年間でたくさんの経験をしてきたたんぽぽさん。毎日楽し遊びながら大きいたほし成長しました。お友だちが休みの時には大丈夫かな?、という言葉しきく程やさしく思いやりをもっことが出来ました。4月からはいよいよ、ばうぐみさんとなりお兄さんお姉さんとなります。このやさしさを来年のたんぽぽさんにたくさんつかってほしいと思います。 小林

ぼら組

2月の終わりは、「ひな祭り」製作に取り組みました。着物の模様は「いじみ絵」で表現し、小道具は、小さな折り紙を折って作りました。気付けば、1時間も集中して作業していた子ども達。華やかな「おひな様」が出来ました。3月は、きく組さんの卒園を皆でお祝いし、沢山の楽しい思い出を作りたと思います。そして、新しいきく組さんになる準備もして参ります。 佐藤

きく組

今年度も残りわずかとなりました。この一年で大きく成長した子どもたちの姿を嬉しく、そして頼もしく感じております。行事を1つ1つ経験するごとに目の輝きや顔つき、表情がどんどん変わっていきまはね。子どもたち一人ひとりが持って生まれて素晴らしいものを生かし、これから出会う人たちと信頼関係を築き、温かい日々を歩んで行けるよう、残りの1ヵ月も丁寧に関わらせていただきます。 花村